

事務事業評価一覧(課別)

令和7年度

市民環境部環境衛生課

(単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	13,015,182	コスト	成果	
1781 合併処理浄化槽設置整備事業	80,692	↑	↑	234-01
1783 環境学習推進事業	60	→	↑	213-01
1785 狂犬病予防事業	1,241	↓	→	213-02
1786 環境美化・河川環境保全推進事業	2,085	→	→	213-03
1787 墓地維持管理事業	3,704	→	→	231-01
1789 生活排水対策推進計画策定及び進行管理事業	2,407	→	→	234-02
1791 植林地維持管理事業	414	→	→	211-01
1795 生物多様性保全推進事業	1	→	→	211-02
1796 衛生確保対策事業	4,135	→	→	213-04
1798 河川景観保全アダプト(里親)制度推進事業	9,353	→	→	213-05
1799 国分斎場管理運営事業	161,182	→	→	231-02
1803 資源物中間処理・保管事業	75,482	→	→	221-01
1804 資源物分別基準適合物再商品化事業	1,005	→	→	221-02
1805 資源物分別収集推進補助事業	14,428	→	→	221-03
1808 蛍光灯・乾電池処理事業	3,873	→	→	222-01
1809 ごみステーション設置費等補助事業	2,305	→	→	222-02
1810 ごみ適正処理啓発事業	74	→	→	222-03
1811 家庭ごみ減量化対策機器等購入補助事業	580	→	→	221-04
1812 家庭系一般廃棄物収集運搬事業	321,440	→	→	222-04
1814 ボランティア清掃廃棄物処理事業	9,497	→	→	222-05
1815 不法投棄対策事業	4,018	→	→	222-06
1816 ごみ処理場管理運営事業	1,238,343	→	→	222-07
1817 安定型最終処分場管理運営事業	1,963	→	→	222-08
1819 (仮称)霧島市クリーンセンター整備・運営事業	10,659,640	×	×	222-09
1820 し尿処理場管理運営事業	239,718	→	→	222-10
2211 海岸漂着物対策推進事業	1,992	→	→	211-03
2671 牧園横川クリーンステーション管理運営事業	26,897	→	→	222-11
2710 高齢者等ごみ戸別収集事業	309	→	→	222-12
2735 霧島市環境保全協会活動補助事業	18,523	→	→	213-06
2736 指定ごみ袋販売事業	128,537	→	→	221-05
2768 地域猫活動推進事業	1,284	↓	↑	213-07

1. 基本情報								
事務事業名	1781 ー 合併処理浄化槽設置整備事業							
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名	4. 水の安定供給と適正な排水処理			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①「安全でおいしい水の供給」「災害等からの迅速な復旧」「健全・安定的な事業運営」の3つの観点から水の安定供給を目指します。 ②下水道整備や合併処理浄化槽の普及推進・適正管理など、地域の実情に応じた排水処理を推進します。			算	款	04	衛生費	
				科	項	02	環境衛生費	
				目	目	01	環境衛生総務費	
				事業期間		平成3年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等			浄化槽法、霧島市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、霧島市浄化槽等災害復旧事業補助金交付要綱
	①②市民・事業者		①安全でおいしい水を利用できる ②排水を適切に処理してもらう					
					関連計画			第二次霧島市生活排水対策推進計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽又は高度処理型合併処理浄化槽へ切換えを行う市民に対し補助金を交付することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し自然環境の保全を図る。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	下水道供用開始区域及び事業認可区域以外に居住している市民	下水道供用開始区域及び事業認可区域以外に居住している市民人口	人	77,589	77,800	77,667	78,000
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	合併処理浄化槽で生活排水を処理する	処理人口(合併浄化槽による処理人口)	人	62,851	64,900	63,479	64,900
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		86,177	80,692	85,137	合併処理浄化槽への転換により、公共用水域の水質改善に寄与した。また被災した浄化槽の災害復旧を実施した。
財源内訳	国庫支出金	47,124	35,106	42,471	【合併処理浄化槽への転換事業】 R7 ・転換基数 5人槽:115基、7人槽:9基、10人槽:0基、合計:124基 (うち単独処理浄化槽からの転換:88基 くみ取り便槽からの転換:36基) ・補助金交付額 78,534,000円 R6 ・転換基数 5人槽:117基、7人槽:16基、10人槽:2基、合計:135基 (うち単独処理浄化槽からの転換:96基 くみ取り便槽からの転換:39基) ・補助金交付額 86,027,000円
	県支出金	13,674	12,452	13,540	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	25,379	33,134	29,126	

5. 振返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	現在、約15%の市民が単独処理浄化槽やくみ取り便槽を利用しているが、その多くは高齢者世帯であることが予想され、補助制度があるとはいえ自己負担が必要であることなどから、ここ数年は設置基数が大幅に伸びない状況がある。このような中、国はくみ取り便槽からの転換に係る宅内配管工事に対する補助制度を開始しており、本市においても当該補助制度の創設について引き続き検討を行うとともに、県に対して補助制度の拡充を要望していく。	
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充		

1. 基本情報									
事務事業名		1783－環境学習推進事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成							
基本事業名		3. 環境保全意識の向上			予 算		01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)		①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			算 科		04	衛生費	
					項 目		02	環境衛生費	
					目 目		01	環境衛生総務費	
					事業期間		平成25年度～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし	
		①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画		第二次霧島市環境基本計画	
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
市民を対象とした環境学習会等を実施する事業。環境について学習する機会を提供することにより、市民一人ひとりが環境に配慮した生活や行動をとるためのきっかけ作りを行い、環境学習の推進を図る。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	市民	人口		人	121,379	122,830	122,441	122,771	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	環境に関する関心と理解が深まる	環境学習会参加者数		人	158	250	185	250	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		65	60	49	【緑のカーテン作り方講座(令和7年5月17日)】参加団体数:64団体(80グループ:84名) 緑のカーテンの普及と地球温暖化対策の啓発に取り組んだ。アンケートでは、78%の方が「取り組みを評価する」と回答し、86%の方が「来年も取り組みたい」と回答している。 【環境パネル展(令和7年6月9日～令和7年6月23日)】 市役所を訪れる方に対し湾奥の環境保全等について学ぶ機会を提供した。 【学ぶ環境体験学習塾(令和7年8月6日)】 参加者数 25組53名(児童25名、同伴者28名) 小学生とその保護者を対象に、自然環境の多様性や環境問題についての意識啓発を図った。 【～縄文の森で環境学習～ネイチャーゲームをしよう！(令和8年1月31日)】 参加者数:17組47名(児童17名、同伴者30名) 豊かな自然の持つ様々な表情を楽しめる自然体験活動(ネイチャーゲーム)等を通し、自然の不思議や仕組みを学んでもらい、環境保全への意識啓発を図った。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	29					
一般財源		65	60	20					
5. 振り返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はある		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					***		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					***		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					***		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1)今後の事務事業の方向性				(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		↑ 拡充	近年の環境問題の動向を踏まえ、新たなテーマによる環境学習会の実施について検討を行い、より多くの市民が学習できる 機会の創出を図る。 また、各年代に応じた環境保全意識の向上を目的とした取組を計画的に推進していく必要がある。						
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報									
事務事業名		1785－狂犬病予防事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成							
基本事業名		3. 環境保全意識の向上			予 算 科 目		会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)		①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			算 款 項 目		04	衛生費	
					02		環境衛生費		
					01		環境衛生総務費		
					事業期間		昭和25年代～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		狂犬病予防法、狂犬病予防法施行令、狂犬病予防法施行規則	
		①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画		特になし	
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止する事業。主に狂犬病予防法に基づく犬の登録や狂犬病予防集合注射を実施する。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	市内で飼育されている犬及びその所有者	犬の登録頭数		頭	5,747	5,800	5,722	5,800	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	狂犬病予防注射を受ける	狂犬病予防注射接種率		%	73	70	72	70	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		1,173	1,241	1,453	狂犬病予防集合注射を春に1回実施。また、広報誌等で狂犬病予防の啓発活動を行うことにより、狂犬病の発生及びまん延の防止に努めた。 【集合注射実施結果】 春の集合注射:9日間 126会場 891頭				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	1,173	1,241	1,453					
	一般財源	0	0	0					
5. 振り返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はある		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					***		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					***		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					***		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1) 今後の事務事業の方向性				(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持		引き続き、関係機関等と連携を図り、予防注射の接種率向上に努めるとともに、集合注射の日数や会場の見直しを行い、業務の改善を図る。					
② コスト(予算)の方向性		↓ 縮小							

1. 基本情報									
事務事業名		1786－環境美化・河川環境保全推進事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成							
基本事業名		3. 環境保全意識の向上			予 算 科 目		会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			款			04	衛生費	
				項	02	環境衛生費			
				目	01	環境衛生総務費			
				事業期間			平成20年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市環境基本条例、霧島市生活環境美化条例		
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する				第二次霧島市環境基本計画		
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
生活環境美化・河川環境保全等に関することを普及・啓発及び推進する事業。主に市内全域への環境美化推進員及び河川環境保全推進員の配置や飼い主のいない猫の繁殖抑制対策を行う。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	市民	人口		人	121,379	122,830	122,441	122,771	
イ	環境美化・河川環境保全推進員	推進員数		人	69	70	70	69	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	環境美化・環境保全に関する意識が高まる	身近な生活環境への満足度(市民意識調査)※令和6年度未実施		%	0	80	0	80	
イ	地域の環境美化等のリーダー的役割を果たす	説明会・研修会への参加者数※令和7年度未実施		人	46	70	0	68	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		2,210	2,085	2,297	70名の環境美化推進員及び河川環境保全推進員が環境パトロールを行い、ポイ捨てごみの収集や犬のふんの放置に対する指導、不法投棄ごみの通報等の活動を通して、広く環境美化に貢献した。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	1,861	2,024	2,225					
	一般財源	349	61	72					
5. 振返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1)今後の事務事業の方向性				(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→維持							
② コスト(予算)の方向性		→維持							

1. 基本情報									
事務事業名		1787 - 墓地維持管理事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属		環境衛生課	
施策名		3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名		1. 良質な住環境の整備				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。				算	款	04	衛生費	
					科	項	02	環境衛生費	
					目	目	01	環境衛生総務費	
					事業期間				昭和55年代～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		墓地、埋葬等に関する法律、霧島市営墓地の設置及び管理に関する条例等		
	①市民		①安心して住宅に住めるようになる		関連計画		特になし		
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
市営墓地の適切な管理を行うとともに、共同墓地運営を支援する事業。 【市営墓地】 ・宇都墓地、久保山墓地公苑、しもづる墓地公苑 【共同墓地の持続性確保等を目的とした支援】 ・共同墓地の水道料金助成等									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	市営墓地の利用者	利用区画数		区画	584	584	571	571	
イ	共同墓地	共同墓地数		箇所	322	322	322	322	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	公衆衛生その他公共の福祉の見地から、埋蔵等が支障なく行われる	利用率		%	91	92	90	92	
イ	共同墓地の持続性が保たれる	共同墓地廃止数		箇所	0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		3,893	3,704	4,187	・市営墓地の空き区画の利用希望者を市HP等で募り、埋蔵等が支障なく行われるよう努めた。 (宇都墓地:2件) ・市営墓地を快適に利用できるよう、草払い等を実施し、適正な維持管理を行った。 ・無縁霊塔(市営宇都墓地内)の整理を行い、今後も持続的に埋蔵できる仕組み作りを行った。 ・共同墓地については、水道料金の助成等を行うことにより、墓地経営の持続性が保たれるよう支援した。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	124	156	163					
一般財源		3,769	3,548	4,024					
5. 振返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					実施すべき又は実施しなければならない事業		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1)今後の事務事業の方向性				(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持	本年度は、市営宇都地内の無縁霊塔の整理を行い、今後も持続的に埋蔵できる仕組み作りができた。						
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報							
事務事業名 1789 ー 生活排水対策推進計画策定及び進行管理事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		3. 快適生活の基盤づくりの推進					
基本事業名		4. 水の安定供給と適正な排水処理		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①「安全でおいしい水の供給」「災害等からの迅速な復旧」「健全・安定的な事業運営」の3つの観点から水の安定供給を目指します。 ②下水道整備や合併処理浄化槽の普及推進・適正管理など、地域の実情に応じた排水処理を推進します。			算	款	04	衛生費
				科	項	02	環境衛生費
				目	目	02	環境対策費
				事業期間			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		環境基本法、水質汚濁防止法
	①②市民・事業者		①安全でおいしい水を利用できる ②排水を適切に処理してもらう		関連計画		第二次霧島市環境基本計画、第二次霧島市生活排水対策推進計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

水質汚濁防止法に基づく生活排水対策重点地域に指定されている本市の公共用水域等の状況を把握する事業。主に河川や事業場排水等の水質調査を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 河川(用排水路含む)	延べ調査地点数	地点	122	122	121	122
イ 事業場(用排水路含む)	延べ調査地点数	地点	49	50	50	50
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 河川水質を保全する	河川水質達成率	%	83	90	80	90
イ 事業場排水を適正に処理する	指導文書送付事業場数	事業所	13	10	6	6
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)	2,412	2,407	3,160	河川及び事業場排水の水質調査を実施することにより、水質汚濁状況を継続して把握でき、今後の生活排水対策等における基礎資料とすることができた。 【河川水質調査】 調査回数：年2回(8月～9月の灌漑期、11月～12月の非灌漑期) 調査地点：60地点(灌漑期)、61地点(非灌漑期) 【事業場排水調査】 調査回数：年2回(8月～9月の灌漑期、11月～12月の非灌漑期) 調査地点：35地点(灌漑期)、15地点(非灌漑期)
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,412	2,407	3,160

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	生活排水対策重点地域に指定されている本市においては、継続的な河川水質監視を行うことが不可欠であり、公共用水域の水質保全を図るため、生活排水対策及び事業場排水対策に引き続き取り組む必要がある。
② コスト(予算)の方向性	

1. 基本情報									
事務事業名		1791－植林地維持管理事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成							
基本事業名		1. 自然環境の保全			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)		①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。			算	款	04	衛生費	
					科	項	02	環境衛生費	
					目	目	02	環境対策費	
					事業期間		令和3年度～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし	
		①森林 ②野生動植物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される		関連計画		第二次霧島市環境基本計画	
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
10万本植林プロジェクト植林地の維持管理を行う事業。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	植林地外周部	植林地外周部面積		m ²	1,904	1,904	1,904	1,904	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	生育環境及び景観を保全する	除草等実施面積		m ²	1,904	1,904	1,904	1,904	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		390	414	446	除草作業等を実施したことにより、10万本植林プロジェクト植林地の景観及び生育環境の保全が図られた。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	300	400	400					
	一般財源	90	14	46					
5. 振り返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1)今後の事務事業の方向性				(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持		引き続き植林地外周部の除草作業等を行うことにより、植林地の景観等の保全を図る。					
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報						
事務事業名	1795 ー 生物多様性保全推進事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名	1. 自然環境の保全		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。		算	款	04	衛生費
			科	項	02	環境衛生費
			目	目	02	環境対策費
			事業期間		平成26年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	生物多様性基本法
	①森林 ②野生動植物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される		関連計画	霧島市生物多様性推進プラン

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
霧島市生物多様性推進プランに目標として掲げた「生物多様性の考え方の普及および重点施策における生物多様性の保全・回復」を実現するための事業。主に市民を対象とした環境学習会の開催やキシマツツジの認知度向上に取り組む。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	生物多様性に関する理解が深まる	生物多様性について知っている市民の割合 (市民意識調査)※令和5年度未実施	%	0	75	0	75
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		18	1	17	生物多様性については、出前講座を実施し、意識啓発を図った。 また、キシマツツジに係る取組については、写真展を開催することで、認知度の向上に努めた。 【生物多様性に関する出前講座】 出前講座:1回 参加者:162名 【キシマツツジ写真展】 開催期間:令和7年4月5日～4月27日 場所:国分シビックセンター1階共通ロビー
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	18	1	17	

5. 振り返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN) >		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名		1796 ー 衛生確保対策事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名		3. 環境保全意識の向上		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	02	環境衛生費
					目	02	環境対策費
				事業期間		平成26年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画		第二次霧島市環境基本計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

災害時の防疫や不快害虫の駆除を行う事業。主に災害防疫対策やヤンバルトサカヤスデ対策を行う。

【災害防疫対策】

大雨等による家屋の床上・床下浸水が発生した場合に、感染症の原因となる病原体の蔓延を防止するため、被災家屋及びその周辺の速やかな消毒を実施する。

【ヤンバルトサカヤスデ対策】

平成25年に本市では初めて確認された、外来生物のヤンバルトサカヤスデ(不快害虫)を根絶するため、地域住民と協力して駆除を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 市民	床上・床下浸水発生回数	回	2	0	619	2
イ 市民	ヤンバルトサカヤスデ発生箇所数	箇所	5	0	2	2
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 感染症の発生を防止する	感染症の発生回数	回	0	0	0	0
イ 快適な生活環境を確保する	新たな発生箇所数	箇所	4	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)	509	4,135	598	【災害防疫対策】 8月7日から8日の豪雨災害で床上・床下浸水が発生したことから、感染症予防のため被害を受けた家屋などの消毒作業を実施し、衛生の確保を図った。 ・8月7日～8日の大雨に伴う消毒作業件数:619件(国分128件、溝辺10件、横川2件、牧園1件、隼人456件、福山22件) ・決算額 3,921,215円
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	3,921	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
一般財源	509	214	598	【ヤンバルトサカヤスデ対策】 ヤンバルトサカヤスデについては、隼人町小浜地区で大量発生が確認され、職員による駆除(薬剤散布)を2回実施した。 ・業者委託による駆除回数(薬剤散布回数):0回

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持
② コスト(予算)の方向性	→ 維持

1. 基本情報									
事務事業名		1798 ー 河川景観保全アダプト(里親)制度推進事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成							
基本事業名		3. 環境保全意識の向上			予 算		01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)		①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			算 科		04	衛生費	
					項 目		02	環境衛生費	
					目 目		02	環境対策費	
					事業期間		平成23年度～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		天降川等河川環境保全条例、霧島市環境基本条例	
		①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画		第二次霧島市環境基本計画	
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
河川景観保全に取り組む団体を河川アダプト団体として登録し、登録団体が河川堤防等で行う草払いなどの活動を支援する事業。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	市民	人口		人	121,379	122,830	122,441	122,771	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	アダプト制度に登録し、美化活動に取り組む	アダプト制度に登録した市民の数		人	3,109	3,500	2,909	3,500	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		8,682	9,353	10,264	令和7年度は新規登録が18団体、廃止が6団体となった。休止団体等を除く153団体(活動後廃止を含む)が、河川堤防の除草作業・ごみ拾いを行ったことで、河川景観の保全が図られた。 【令和7年度登録団体数等】 年度当初登録団体数:156団体 新規登録団体数:18団体 廃止団体数:6団体 年度末登録団体数:168団体				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	8,600	9,300	10,200					
	一般財源	82	53	64					
5. 振り返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1)今後の事務事業の方向性				(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持							
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報								
事務事業名	1799 ― 国分斎場管理運営事業							
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属		環境衛生課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名	1. 良質な住環境の整備				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。				算	款	04	衛生費
					科	項	02	環境衛生費
					目	目	03	火葬場費
					事業期間			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市火葬場の設置及び管理に関する条例	
	①市民		①安心して住宅に住めるようになる		関連計画		霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

霧島市国分斎場の維持や管理運営を行う事業。火葬炉等設備や建物等の修繕については市が行い、管理運営については指定管理者が行う。

【施設の概要】霧島市国分斎場(火葬炉:6基 告別室:2室 待合室:3室など)

【指定管理者】福地産業株式会社(指定期間:令和7年4月1日～令和12年3月31日)

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 火葬等	火葬等件数	件	3,084	3,000	3,031	3,000
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 公衆衛生その他公共の福祉の見地から、火葬が支障なく行われる	火葬等を行う際に支障があった件数	件	0	0	0	0
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)	201,590	161,182	152,637	長期的な傾向としては火葬等件数が増加している中で、指定管理者と連携を図り火葬等が滞りなく行われた。 また、老朽化した火葬炉設備の更新工事を令和5年度から行い、本年度全ての工事が終了した。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	2,000	81,900
	その他	71,219	70,745	36,483
	一般財源	130,371	88,437	34,254

○火葬等件数(単位:件)
【R7】 国集福霧溝 牧横 市外 合計
改葬等 1,424 131 51 1,606
大人小人 1,221 116 88 1,425
合計 2,645 247 139 3,031
【R6】 国集福霧溝 牧横 市外 合計
改葬等 1,365 92 44 1,501
大人小人 1,380 138 65 1,583
合計 2,745 230 109 3,084

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	計画的に火葬炉の定期修繕を行うことで将来に向けた施設の安全運転につなげる。また、屋上防水・外壁の改修工事を行い、施設の長寿命化を図る。
② コスト(予算)の方向性	

1. 基本情報							
事務事業名	1803 ー 資源物中間処理・保管事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課		
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名	1. ごみの減量化・資源化			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。			算	款	04	衛生費
				科	項	03	清掃費
				目	目	02	塵芥処理費
				事業期間		平成9年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	
	①②市民・事業者		①②ごみの減量・資源化に取り組む		関連計画	霧島市一般廃棄物処理計画、霧島市分別収集計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

【目的】
一般家庭等から排出・回収された資源物の中間処理・保管業務を民間事業者へ委託し、ごみの適正処理及びリサイクルを推進する。

【事業内容】
一般家庭等から排出・回収された資源物(紙類を除く)を民間事業者へ委託し、天降川リサイクルセンターで処理する。
民間事業者：㈱国分準人衛生公社

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民・事業者が排出する資源物	搬入された資源物(紙類を除く)の量	t/年	1,698	1,500	1,590	1,510
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	適正に中間処理・保管され搬出される	中間処理施設から適正に搬出された資源物(紙類を除く)量	t/年	1,646	1,500	1,525	1,510
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		69,993	75,482	74,348	民間事業者へ委託し、資源物(紙類以外)の中間処理・保管業務を適正かつ効率的に行うことにより、ごみの適正処理及び資源物のリサイクルを推進した。 令和7年度実績(搬出量) (内訳) 缶類 153t ペットボトル 244t びん類 559t プラスチック製容器包装 372t 有害ごみ(蛍光灯・乾電池) 36t 食用油 15t 古着等 162t
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	69,950	70,536	74,291	
	一般財源	43	4,946	57	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	霧島市ごみ減量化・資源化問題検討委員会にて、新たな分別(危険ごみ・不燃ごみ・製品プラスチック)を検討しており、市民にとって排出しやすい環境整備を行い、適正排出とともに資源化量を増やす。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報									
事務事業名		1804 ー 資源物分別基準適合物再商品化事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名		1. ごみの減量化・資源化			予 算		01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)		①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。			科 目		04	衛生費	
					項 目		03	清掃費	
					目 目		02	塵芥処理費	
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	
		①②市民・事業者		①②ごみの減量・資源化に取り組む				関連計画	
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
【目的】 容器包装リサイクル法に基づき、回収された分別基準適合物(紙類を除く)の再商品化を(公財)日本容器包装リサイクル協会に委託するとともに、ペットボトルの一部を民間事業者に委託し、適正かつ安定的なリサイクルを推進する。									
【事業内容】 一般家庭等から排出・回収された分別基準適合物は、天降川リサイクルセンターで中間処理・保管した後、(公財)日本容器包装リサイクル協会に引き渡し、リサイクルする。また、ペットボトルの一部を民間事業者(サントリー食品インターナショナル(株))に委託して、水平リサイクルする。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	回収された再商品化対象の資源物	回収された再商品化対象の資源物の量		t/年	1,226	1,250	1,021	1,025	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	きちんと再商品化される	再商品化された資源物の量		t/年	1,226	1,250	1,021	1,025	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		1,075	1,005	1,145	容器包装リサイクル法に基づき、指定法人である(公財)日本容器包装リサイクル協会に再商品化業務を委託することで、分別基準適合物(資源物)のリサイクルを適正かつ安定的に行い、資源物の有効活用を図った。 令和7年度実績(搬出量) ・びん類(生きびん除く) 527t ・ペットボトル 122t ・プラスチック製容器包装 372t 合計 1,021t ペットボトルの一部を水平リサイクルし、CO ₂ の排出削減を図った。 ・ペットボトル 122t 全体計 1,143t				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
一般財源		1,075	1,005	1,145					
5. 振り返り<SEE (check) >									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か					実施すべき又は実施しなければならない事業		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1) 今後の事務事業の方向性				(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持	製品プラスチックの資源化については市町村に努力義務が課せられている。県内でも取組む自治体が増えてきた。容器包装プラスチックと一緒に収集することで市民も分別しやすくなることや資源化量増に繋がることから、費用対効果も含め検討する。						
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報									
事務事業名		1805 ー 資源物分別収集推進補助事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名		1. ごみの減量化・資源化			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。	算	科	目	款	04	衛生費		
					項	03	清掃費		
					目	02	塵芥処理費		
					事業期間			平成20年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱		
	①②市民・事業者		①②ごみの減量・資源化に取り組む		関連計画		霧島市環境基本計画、霧島市一般廃棄物処理計画		
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
【目的】 資源物の分別回収に携わっている自治会に補助金を交付し、資源物の適正排出やごみ置場の衛生保持を推進する。 【事業内容】 ・補助金算定方法 自治会均等割額 500円／自治会 世帯割額 250円／世帯									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	家庭から排出されるごみ	家庭から排出されるごみの量		t	24,102	23,500	24,360	24,000	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	きちんと分別されて出される	リサイクル協力率		%	6	7	6	7	
イ	きちんと分別されて出される	違反シールの貼付枚数		枚	23,445	23,445	20,378	20,000	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		14,520	14,428	14,334	資源物の分別回収に携わっている自治会に補助金を交付することにより、ごみの適正排出・減量化、資源物の再資源化及びごみ収集所の衛生保持を図った。 令和7年度実績 ・補助金交付団体数 782自治会 ・対象世帯数38,604世帯(うち未加入者利用世帯数4,726世帯) ・補助金交付額合計 14,363,400円				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	14,520	14,428	14,334					
一般財源		0	0	0					
5. 振り返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1) 今後の事務事業の方向性				(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持		事務事業の目的達成のため引き続き事業継続する。					
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報							
事務事業名 1808 ー 蛍光灯・乾電池処理事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属 環境衛生課				
施策名 2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名 2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	02	塵芥処理費
					事業期間		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

【目的】
家庭から排出された蛍光灯・乾電池の運搬及び処分を民間事業者へ委託し、有害ごみ(水銀含む)の適正処理やリサイクルを推進する。

【事業内容】
家庭から排出された使用済の蛍光灯・乾電池を回収し、天降川リサイクルセンターで一時的保管(民間委託)のうえ、一定量が集まったら、市が委託する民間の処理施設にて有害物質を除去し、リサイクル処理を実施する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 回収された蛍光灯・乾電池	回収された蛍光灯・乾電池の量	t/年	39	39	38	38
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 適正に運搬・処理が行われる。	適正に搬出された蛍光灯・乾電池の量	t/年	36	36	36	36
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		3,825	3,873	5,519	家庭から排出される蛍光灯・乾電池を専門事業者へ委託して適正処理することにより、資源の有効活用と有害ごみの適正処理を図った。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	令和7年度実績 搬入量 搬出量 蛍光灯 6t 7t 乾電池 32t 29t 計 38t 36t
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	5,500	
	一般財源	3,825	3,873	19	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事務事業の目的達成のため引き続き事業継続する。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報								
事務事業名 1809 ― ごみステーション設置費等補助事業								
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課			
施策名 2. 地球にやさしい循環型社会の形成								
基本事業名 2. ごみの適正な排出・処理			予 算 科 目	会計	01	一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			款	04	衛生費		
				項	03	清掃費		
				目	02	塵芥処理費		
			事業期間		平成11年度～			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金等交付規則	
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市環境基本計画、霧島市一般廃棄物処理計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

【目的】
ごみの適正処理・減量化に資するため、自治会等がごみ収集所の新設・改修を実施する際に必要な経費を補助する。

【事業内容】
・対 象 原則10世帯以上の自治会等
・補助率 1/2
・限度額 資源物収集所の新設・改修等：100,000円

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 自治会管理のごみ収集所	自治会管理のごみ収集所数	箇所	1,726	1,726	1,719	1,719
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 衛生的に運用される	整備されたごみ収集所数	箇所	37	36	35	35
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		2,398	2,305	2,150	ごみの適正処理・減量化に資するため、ごみ収集所の新設や改修を行う自治会へ経費の一部を補助した。ごみ収集所の材質もアルミ製のものが増え、蓋・扉等の軽量化や腐食防止により耐久性があがり、ごみ収集所の衛生確保やごみの収集の効率化が図られた。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	令和7年度実績 資源物収集所 21箇所 1,693,000円(補助交付額) 可燃ごみ収集所 14箇所 612,000円(補助交付額) 合計 35箇所 2,305,000円(補助交付額)
	県支出金	0	0	0	●うち8月豪雨災害補助追加(補助率50%→80%引き上げ、補助上限なし)
	地方債	0	0	0	国分地区：1件、通常補助：62,000円、災害追加補助：38,000円(資源)
	その他	2,398	2,305	2,150	隼人地区：1件、通常補助：21,000円、災害追加補助：13,000円(資源)
	一般財源	0	0	0	清辺地区：1件、通常補助：50,000円、災害追加補助：44,000円(資源) 福山地区：1件、通常補助：21,000円、災害追加補助：13,000円(資源) 合計：4件、通常補助：154,000円、災害追加補助：108,000円

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事務事業の目的達成のため事業継続する。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報									
事務事業名		1810 ― ごみ適正処理啓発事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名		2. ごみの適正な排出・処理			予 算		01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)		①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科		04	衛生費	
					目 項		03	清掃費	
					目 目		02	塵芥処理費	
					事業期間		平成9年度～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		循環型社会形成推進基本法	
		①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画	
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
自治会ごみ収集所等に排出された資源物の分別収集(リサイクル)に必要なコンテナ等の消耗品の購入や、ごみの適正排出を促すために不適切に排出されたごみに貼る「ごみ出し警告ラベル」の作成を行う。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	家庭から排出されるごみ	家庭から排出されるごみの量		t	23,500	23,500	24,360	24,000	
イ	市民	分別アプリのダウンロード数		DL	2,404	2,404	2,535	2,535	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	きちんと分別されて出される	違反シールの貼付枚数		枚	23,445	23,445	20,378	20,000	
イ	正しいごみの出し方を理解する	アプリのアクセス数		アクセス	231,257	231,257	234,068	234,068	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		337	74	0	経年劣化等により使用不可となった廃食用油用ポリ容器等を購入することにより、資源物の分別収集が滞りなく実施できた。また、ごみ出し警告ラベルを作成することで、分別の徹底を図ることができた。 令和7年度実績 ・廃食用油用ポリ容器購入 180個 ・ごみ出し警告シール購入 16,000枚(塵芥処理管理事務事業)				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
一般財源		337	74	0					
5. 振り返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					実施すべき又は実施しなければならない事業		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1)今後の事務事業の方向性				(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持		事務事業の目的達成のため、引き続き事業継続する。新しいごみ処理施設である霧島市クリーンセンターにおいて展開検査も実施されるようになり、家庭系一般廃棄物収集運搬事業者が自治会ごみ収集所の違反ごみ対応もさらに厳格化され、当該事業の活用(違反シール)増が見込まれる。					
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報							
事務事業名 1811 ー 家庭ごみ減量化対策機器等購入補助事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属 環境衛生課				
施策名 2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名 1. ごみの減量化・資源化			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	02	塵芥処理費
				事業期間		平成11年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金等交付規則
	①②市民・事業者		①②ごみの減量化・資源化に取り組む		関連計画		霧島市環境基本計画、霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

【目的】
ごみの減量化及び資源化を推進するため霧島市環境保全協会が市民を対象に行う、電気式生ごみ処理機の購入補助事業の実施に必要な経費を補助する。
【事業内容】
・補助率 1/2
・限度額 20,000円

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 市民	10月1日世帯数	世帯	57,700	57,505	63,151	60,288
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア ごみの減量化に取り組む	減量化機器を購入した市民の数	世帯	54	64	43	36
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)	580	580	580	電気式生ごみ処理機の補助基数については、概ね例年どおりの交付を行った。ごみの減量化や資源化の推進に寄与した。 令和7年度実績 補助交付件数 33件 補助交付金額 580,000円 【参考】令和6年度実績 補助交付件数 32件 補助交付金額 580,000円
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	580	580	580
	一般財源	0	0	0

5. 振返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	補助可能件数に対して申請件数が多いことから令和8年度から補助率を2万円から1万5千円に引き下げた。今後は申請件数を考慮しながら補助率等の見直しを行う。事務事業の目的達成のため引き続き事業継続する。
② コスト(予算)の方向性	

1. 基本情報								
事務事業名 1812 ー 家庭系一般廃棄物収集運搬事業								
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課		
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名		2. ごみの適正な排出・処理		予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	款	04	衛生費	
					科	項	03	清掃費
						目	目	02
				事業期間		平成9年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律 循環型社会形成推進基本法	
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

【目的】
一般家庭から排出されるごみ(家庭系の可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源物)の収集運搬業務を民間事業者へ委託し、ごみ処理を適正かつ効率的に行う。

【事業内容】
・地区別委託事業者
 国分地区：(有)国分市清掃社
 隼人地区：(株)国分隼人衛生公社

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 家庭から排出されるごみ	ごみ収集所数	箇所	1,726	1,726	1,719	1,719
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 適切に収集運搬される	収集忘れの問い合わせの件数	件	0	0	0	0
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		331,344	321,440	324,503	一般廃棄物の収集運搬を遂行するに足る施設、人員及び財政的基礎を有し、業務の実施に し相当の経験を有する民間事業者に委託したことにより、各地区の収集運搬を効率的かつ円滑 に行った。 令和7年度実績:直接持込を除く収集した家庭系ごみの量 23,626t 【内訳】可燃ごみ:20,226t、不燃・粗大ごみ:2,040t、資源物:1,360t、合計:23,626t
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	315,393	316,879	324,492	
一般財源		15,951	4,561	11	

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事務事業の目的達成のため引き続き事業継続する。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名	1814 ー ボランティア清掃廃棄物処理事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課		
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	02	塵芥処理費
				事業期間			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし	
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市一般廃棄物処理計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

【目的】
自治会等が道路・側溝等のボランティア清掃を行った際に出る草木、土砂等の収集運搬・処分を民間事業者等に委託し、適正に処理する。
【事業内容】(委託先: 自治会、公益財団法人シルバー人材センター、(株)国分隼人衛生公社)
・運搬料
2tダンプ: 6,200円/1台
1tダンプ: 5,200円/1台 (牧園・霧島地区: 6,000円/1台)

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	自治会内の環境	自治会数	団体	830	830	824	824
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	きれいになる	草刈作業回数	回	429	430	453	460
イ	きれいになる	刈草の運搬台数	台	1,371	1,371	1,492	1,500
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		8,640	9,497	10,000	事業を活用した自治会等の延べ数 国分地区: 草刈作業回数242回、運搬台数 600台 溝辺地区: 草刈作業回数 28回、運搬台数 126台 横川地区: 草刈作業回数 17回、運搬台数 103台 牧園地区: 草刈作業回数 0回 霧島地区: 草刈作業回数 17回、運搬台数 45台 隼人地区: 草刈作業回数142回、運搬台数 606台 福山地区: 草刈作業回数 7回、運搬台数 12台 合計 : 草刈作業回数453回、運搬台数1,492台
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	8,000	8,100	10,000	
	一般財源	640	1,397	0	

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事務事業の目的達成のため引き続き事業継続する。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	1815 ― 不法投棄対策事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	02	塵芥処理費
				事業期間		平成7年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		廃棄物処理法・霧島市環境美化条例
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される				霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

【目的】
不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携しながら環境パトロールや看板設置及び啓発活動を行うとともに、不法投棄ごみの回収及び適正処理を行う。

【事業内容】
環境美化推進員や環境保全協会と協力して環境パトロールを実施することで、不法投棄の早期発見並びに未然防止を図る。また、不法投棄の投棄者が判明した場合には、保健所や警察等の関係機関と連携し指導を行う。回収された不法投棄物については、適正処理を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民	10月1日人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	不法投棄をしてはいけないことを認識する	不法投棄に関するホームページ閲覧数	件	171	200	107	120
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		384	4,018	3,880	環境美化推進員や環境保全協会とともに、不法投棄の未然防止や早期発見のための看板設置や環境パトロール等を行い、回収した不法投棄物を適正に処分することにより、市内の環境美化、景観の保全を図った。 令和7年度実績 ・不法投棄等の相談処理件数 50件 令和6年度実績【参考】 ・不法投棄等の相談処理件数 39件
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	37	850	867	
	一般財源	347	3,168	3,013	

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事務事業の目的達成のため引き続き事業継続する。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報								
事務事業名 1816 - ごみ処理場管理運営事業								
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課	
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名		2. ごみの適正な排出・処理			予 算		01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)		①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科		04	衛生費
					目 項		03	清掃費
					目 目		02	塵芥処理費
					事業期間		平成15年度～	
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市クリーンセンターの設置及び管理に関する条例
		①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市一般廃棄物処理基本計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

敷根清掃センターなどごみ処理施設の維持や管理運営を行う事業。焼却設備の運転等については委託事業者が行い、ごみの受付や選別等は市が行う。なお、令和8年3月からは、霧島市クリーンセンターにおいて当該業務を行う。

【施設の概要】

敷根清掃センター第1工場:ごみ処理能力 81t/日×2炉=162t/日 ※令和8年2月28日稼働停止

霧島市クリーンセンター第1工場:ごみ処理能力 70t/日×2炉=140t/日 ※令和8年3月1日供用開始

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 家庭系ごみ、事業系ごみ	搬入量	t	33,860	37,000	35,634	37,591
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア ごみが適正に処理される	ごみ処理量	t	31,036	37,000	36,044	37,591
イ 適切に管理・運営される	排ガス測定検査でダイオキシンの基準値 1ng-TEQ/gを超えた回数	回	0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		1,158,793	1,238,343	1,011,825	敷根清掃センターでは蒸気タービン発電機等の故障があったものの、適切な対策・修繕及び運転管理を行い、焼却施設の運転に大きな支障をきたすことなくごみの適正処理を令和8年2月末まで継続することができた。 また、令和8年3月1日から霧島市クリーンセンターの供用を開始した。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	○ごみ搬入量実績(単位:t) 可燃ごみ 不燃・粗大 合計 【R7】 32,793 2,841 35,634 【R6】 31,418 2,442 33,860 R7-R6 1,375 399 1,774 R7/R6 104.4% 116.3% 105.2% ※新設の第1工場はR7.12月から試運転による焼却処理を開始 ※既設の敷根清掃センターでの焼却処理はR8.1月で終了
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	140,716	166,147	312,870	
	一般財源	1,018,077	1,072,196	698,955	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	令和9年度予算要求時まで、霧島市クリーンセンター第2工場内における不燃ごみ・粗大ごみ処理の民間委託の方向性を検討する。
② コスト(予算)の方向性	

1. 基本情報							
事務事業名	1817－安定型最終処分場管理運営事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課		
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	02	塵芥処理費
				事業期間		昭和40年代～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	霧島市一般廃棄物最終処分場の設置及び管理に関する条例	
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市一般廃棄物処理基本計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
陶磁器等の安定品目を処分するため、市内の安定型最終処分場の管理運営を行う事業。運営はシルバー人材センターへ委託し、処分場の整備や管理は市が行う。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	安定品目の不燃ごみ	搬入台数	台	841	900	906	900
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	適正に処理される	処分場の開場日数(各処分場合計)	日	72	72	72	72
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		2,553	1,963	2,533	陶磁器・ガラス等の安定品目が適正に処理された。また、場内の草刈りや整地を行うことで処分場の適正管理が図られた。 ○搬入台数 906台		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	2,553	1,963	2,533			

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	1819 ー (仮称)霧島市クリーンセンター整備・運営事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課		
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	02	塵芥処理費
				事業期間		令和元年度～令和7年度	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
平成15年4月に供用を開始した「敷根清掃センター」について、経年劣化による修繕範囲の拡大や維持修繕費の増大等が懸念されていたため、将来にわたるエネルギーの有効活用、ごみ処理費用の削減及び安定的なごみの適正処理を図ることを目的に、新たなごみ処理施設の整備等を行う事業。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	整備状況	整備進捗率	%	60	100	100	0
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	当該事業の管理を適正に行う	計画に対する整備進捗率	%	60	100	100	0
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		2,404,465	10,659,640	0	新しいごみ処理施設「霧島市クリーンセンター」は、計画どおり整備が進捗し、令和8年3月1日から供用を開始した。
財源内訳	国庫支出金	699,725	3,398,344	0	【施設概要】 施設規模: 140t/日 (70t/日×2炉) 発電能力: 3,000kW 稼働時間: 24時間 処理方式: 全連続燃焼ストーク炉方式 敷地面積: 約8,000㎡(第1工場) 施設構造: ※工場棟 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 7,021.55㎡ 地下1階、地上5階 運営方式: DBO方式(施設設計、建設、運営を一括して行う方式)
	県支出金	0	0	0	
	地方債	1,425,100	6,819,700	0	
	その他	200,000	352,700	0	
	一般財源	79,640	88,896	0	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響はない
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	***
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	× 休廃止	霧島市クリーンセンターは、令和8年3月から供用を開始したため、(仮称)霧島市クリーンセンター整備・運営事業は廃止とし、運営・管理に係る業務は、ごみ処理場管理運営事業にて継続する。	
② コスト(予算)の方向性	× 皆減		

1. 基本情報								
事務事業名 1820 し尿処理場管理運営事業								
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属 環境衛生課				
施策名 2. 地球にやさしい循環型社会の形成								
基本事業名 2. ごみの適正な排出・処理				予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	科	目	04	衛生費
						項	03	清掃費
						目	03	し尿処理費
				事業期間		平成11年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市し尿処理場の設置及び管理に関する 条例等	
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市一般廃棄物処理基本計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>								
霧島市南部し尿処理場及び牧園・横川地区し尿処理場の維持や管理運営を行う事業。し尿処理設備や建物等の修繕については市が行い、管理運営については指定管理者が行う。 【施設の概要及び指定管理者】 ○南部し尿処理場(処理能力190kℓ/日:し尿59kℓ/日 浄化槽汚泥131kℓ/日) 指定管理者: 月島ジェイテクノメンテサービズ株式会社(指定期間: 令和5年4月1日～令和10年3月31日) ○牧園・横川地区し尿処理場(処理能力36kℓ/日:し尿14kℓ/日 浄化槽汚泥22kℓ/日)								
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	し尿・浄化槽汚泥	し尿・浄化槽汚泥搬入量(2施設の合計)		kℓ	68,842	69,000	69,294	69,000
イ					0	0	0	0
ウ					0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	し尿等が適正に処理される	し尿・浄化槽汚泥処理量(2施設の合計)		kℓ	68,842	69,000	69,294	69,000
イ					0	0	0	0
ウ					0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果			
事業費(千円)		237,386	239,718	247,778	必要な施設設備の補修を行い、排出基準を遵守しながらし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理した。また、搬入道路等の清掃を定期的に行うなど環境美化に努めた。			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	○汚泥搬入量(単位:kl) 【南部し尿処理場】 【R7】 国・集 福山 霧島 溝辺 合計 生し尿 8,722 640 544 1,218 11,124 浄化槽 33,200 2,424 4,270 5,948 45,842 合計 41,922 3,064 4,814 7,166 56,966			
	県支出金	0	0	0	【R6】 国・集 福山 霧島 溝辺 合計 生し尿 8,986 662 665 1,255 11,568 浄化槽 32,304 2,531 4,287 5,742 44,864 合計 41,290 3,193 4,952 6,997 56,432			
	地方債	0	0	0				
	その他	12,054	12,132	12,063				
	一般財源	225,332	227,586	235,715				

5. 振り返り<SEE (check)>				
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか		結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か		実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか		影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか		向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか		削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか		削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか		公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	計画的にし尿処理場の定期修繕を行うことで将来に向けた施設の安全運転につなげる。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報								
事務事業名 2211 ー 海岸漂着物対策推進事業								
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課			
施策名 1. 自然と共生する良好な生活環境の形成								
基本事業名 1. 自然環境の保全			予	会計	01	一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)	①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。			算	款	04	衛生費	
					科	項	02	環境衛生費
						目	02	環境対策費
				事業期間		平成22年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		海岸漂着物処理推進法	
	①森林 ②野生動植物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される		関連計画		霧島市環境基本計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

【目的】
本市は鹿児島湾の湾奥部に位置し、不法投棄等による生活系一般廃棄物や雑木等が暴風雨後に湾内を漂流し、その後、本市沿岸地域に漂着している現状がある。鹿児島県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、沿岸地域に流れ着く海岸漂着物を減らすための発生抑制事業を行うことにより、沿岸地域における良好な景観及び環境の保全を図る。

【事業内容】
隼人町小浜海岸から福山町福山海岸までの区間内で、海岸漂着物が確認された箇所において、人力施工及び重機による回収・処理事業を実施する。回収効率を考慮し、可

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	海岸	海岸延長	m	33,344	33,344	33,344	33,344
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	ごみがない状態に保つ	海岸漂着物の回収量	t	37	68	38	79
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		1,841	1,992	2,310	漂着物が多く確認された沿岸地域において、民間事業者委託や場合によっては職員自ら回収処理を実施し、海岸の良好な景観及び保全を図った。 実施海岸 海岸延長 回収・処理量 敷根海岸 2,100m 34.12t 福山湾海岸 2,915m 2.60t 小浜海岸 1,430m 1.39t 合計 6,445m 38.11t
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	1,490	1,408	1,631	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	351	584	679	

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事務事業の目的達成のため引き続き事業継続する。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報									
事務事業名		2671 - 牧園横川クリーンステーション管理運営事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名		2. ごみの適正な排出・処理			予 算		01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)		①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科 目		04	衛生費	
					項 目		03	清掃費	
					目 目		02	塵芥処理費	
					事業期間		令和5年度～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		牧園横川クリーンステーションの設置及び管理に関する条例	
		①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画	
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
伊佐北始良環境管理組合から本市が脱退することに伴い、横川町・牧園町の方がごみを直接搬入できるごみ集積場を整備・運営するもの。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	市民	利用台数		台	6,817	6,817	6,992	6,992	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	気持ちよくステーションを利用できる	利用台数に対する苦情の割合		件	41	41	11	11	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		24,105	26,897	27,227	供用開始から時間が経過し、利用者が慣れてきたため、苦情件数は減少した。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	搬入量 もえるごみ 86,750kg もえないごみ 26,280kg 粗大ごみ 126,760kg 資源物 44,096kg				
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	24,000	26,397	27,197					
	一般財源	105	500	30					
5. 振返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1) 今後の事務事業の方向性				(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持		事務事業の目的達成のため引き続き事業継続する。					
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報								
事務事業名 2710 ー 高齢者等ごみ戸別収集事業								
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属 環境衛生課					
施策名 2. 地球にやさしい循環型社会の形成								
基本事業名 2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01	一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	款	04	衛生費	
					科	項	03	清掃費
						目	02	塵芥処理費
				事業期間		令和5年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等			特になし
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画			一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

【目的】
高齢化社会や核家族化の進展等に伴い高齢者や障がい者のみの世帯が増加することにより、家庭からの日々のごみ出しに課題を抱える事例も生じており、これらの課題を解決するため、シルバー人材センターへ委託し、戸別収集する。

【事業内容】
・対象世帯
以下の4つの条件のいずれかに該当し、かつ介護保険法または障害者総合支援法に基づく居宅サービスを利用している世帯を対象とする。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	利用者	利用者数	人	64	70	92	100
イ	利用者	利用回数	回	1,847	2,000	2,705	2,800
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	適切にごみを出すことができる	利用回数に対する苦情の割合	件	0	0	0	0
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		211	309	392	居宅相談支援事業所と連携し、ごみ出しが困難な方へ利用を促すとともに、利用者へのルールの遵守を徹底した。 令和7年度実績 新規申請者 40人 利用者数 60人
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	200	0	0	
	一般財源	11	309	392	

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できる
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	申請受付から決定通知、実績管理までスムーズに行うことができるように、電子申請システムの構築を検討する。利用促進に際して、居宅介護支援事業所等への周知を改めて図る。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報									
事務事業名		2735 霧島市環境保全協会活動補助事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成							
基本事業名		3. 環境保全意識の向上			予 算 科 目		会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			款			04	衛生費	
				項	02	環境衛生費			
				目	01	環境衛生総務費			
				事業期間			令和6年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし		
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する						
				関連計画					
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
環境衛生思想の普及啓発や地域の生活環境の改善・向上のための活動を推進する霧島市環境保全協会に対し、補助金を交付することにより、市民の福祉増進を図る。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	市民	人口		人	121,379	122,830	122,441	122,771	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	環境保全活動に取り組む	協会の活動に参加した人数		人	96,470	98,774	42,640	45,000	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		23,839	18,523	18,523	霧島市環境保全協会の各支部で実施した美化活動等に多くの市民が参加し、地域の環境美化が保たれた。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
一般財源		23,839	18,523	18,523					
5. 振り返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1) 今後の事務事業の方向性				(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持		事務事業の目的達成のため引き続き事業継続する。					
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報										
事務事業名		2736 ー 指定ごみ袋販売事業								
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課			
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成								
基本事業名		1. ごみの減量化・資源化			予 算 科 目		01		一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)		①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。					04		衛生費	
					03		清掃費			
					02		塵芥処理費			
					事業期間				令和6年度～	
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		
		①②市民・事業者		①②ごみの減量・資源化に取り組む						
						関連計画				
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>										
【目的】 ごみの排出抑制や資源化を推進するとともに、ごみの排出量に応じた処理費用の負担の公平性を確保するため、指定ごみ袋の製造販売を行う。										
【事業概要】 ①ごみ処理手数料(指定ごみ袋販売価格) もえるごみ袋 大 210円(10枚入) もえるごみ袋 中 180円(10枚入)										
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)		
ア	市民	人口		人	121,379	122,830	122,441	122,771		
イ					0	0	0	0		
ウ					0	0	0	0		
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)		
ア	ごみを減らす	家庭から出るもえるごみの量		t	21,884	21,884	21,816	21,816		
イ					0	0	0	0		
ウ					0	0	0	0		
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果					
事業費(千円)		146,178	128,537	151,440	●指定ごみ袋の販売枚数 もえるごみ袋 6,223,210枚 資源物袋 974,080枚 もえないごみ袋 322,170枚 指定ごみ袋の売上額 146,498,170円					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	地方債	0	0	0						
	その他	146,178	106,583	129,796						
一般財源	0	21,954	21,644							
5. 振返り<SEE (check)>										
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている			
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					実施すべき又は実施しなければならない事業			
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある			
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない			
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない			
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない			
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である			
6. 評価結果<(Action-PLAN)>										
(1)今後の事務事業の方向性				(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)						
① 事業(成果)の方向性		→ 維持		事務事業の目的達成のため引き続き事業継続する。						
② コスト(予算)の方向性		→ 維持								

1. 基本情報							
事務事業名	2768 ー 地域猫活動推進事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課		
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成						
基本事業名	3. 環境保全意識の向上			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			算	款	04	衛生費
				科	項	02	環境衛生費
				目	目	01	環境衛生総務費
				事業期間			令和6年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	霧島市飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金交付要綱 霧島市さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)	
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する			特になし	
					関連計画		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

【地域猫活動推進事業】
地域猫活動及びTNR活動の取組を推進するため、飼い主のいない猫の不妊去勢手術を実施しようとする団体に対し、不妊去勢手術費の補助を行うことで、飼い主のいない猫に起因する地域課題(ふん尿、鳴き声被害等)の解決を目指す。
【さくらねこ無料不妊手術事業】
公益財団法人どうぶつ基金が発行する行政枠用のさくらねこ無料不妊手術チケットを配布し、不妊去勢手術を行うことで、飼い主のいない猫に起因する地域課題(ふん尿、鳴き声被害等)の解決を目指す。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	地域猫活動等を行う団体(地域猫活動推進事業)	不妊去勢手術申請頭数	頭	151	100	152	230
イ	地域猫活動等を行う団体・個人(さくらねこ無料不妊手術事業)	不妊去勢手術申請頭数	頭	233	200	393	300
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	繁殖抑制のための不妊去勢手術を実施する(地域猫活動推進事業)	不妊去勢手術済頭数	頭	92	100	137	230
イ	繁殖抑制のための不妊去勢手術を実施する(さくらねこ無料不妊手術事業)	不妊去勢手術済頭数	頭	46	50	207	225
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		775	1,284	2,319	【地域猫活動推進事業】 地域猫活動等を実施する2名以上の団体に対し、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費を補助することで、生活環境被害等の軽減に努めた。 補助金を利用して手術を行った頭数:137頭 【さくらねこ無料不妊手術事業】 地域猫活動等を実施する団体・個人に対し、無料不妊去勢手術チケットを配布することで、飼い主のいない猫に起因する生活環境被害等の軽減に努めた。 チケットを利用して手術を行った頭数:207頭
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	706	1,022	2,000	
	一般財源	69	262	319	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	本事業は「クラウドファンディング型ふるさと納税」を利用して集めた金額を補助金に充当している。 令和7年度は目標金額を上回る寄付を募ることが出来たが、依然として補助事業を要望する声が多いことから、継続的に寄付を募れる手段の確立と、より多くの寄付を募る手段について、検討する必要がある。	
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小		